

# L I M

TODAY'S TOPIC

## 救急の日と救急車

### ◆ 9月9日は救急の日です

救急の日は「9(救)9(急)」の語呂合わせで1982年(昭和57年)に9月9日として当時の厚生省が決めました。

救急医療関係者の意識を高め、救急医療や救急業務に対する国民の正しい理解と認識を深めることを目的としています。

この日を含む一週間は「緊急医療週間」として、啓発の為の講習やイベントが全国で数多く実施されます。

これらのイベントは9月1日の防災の日と近いこともあり、各種防災訓練と連動する事も多くあります。



現在の標準的な高規格救急車  
トヨタ ハイメディック(天草市消防局)

### ◆ 現在の救急車は「高規格救急車」

かつて救急業務に使用される救急車は車内の両側にベッドがあり患者を搬送するのみの「2B救急車」(「B」はベッドを指す)が主流でした。

しかし1991年(平成3年)には救急救命士法が制定され、車内で医療行為の可能な救急救命士が同乗する「高規格救急車」が誕生します。

ちなみに当時は国内メーカーでの高規格救急車開発が間に合わず、既に海外で実績のあったメルセデスベンツやフォード製の救急車が全国に配備されました。

国産救急車は翌92年にトヨタ・日産等が発売を開始、現在はほぼこの2社が全国で使用されています。

車内には人工呼吸器や外傷キット、心電図モニターの付いた自動式体外除細動機、聴診器を含む各種観察用機材などが搭載されており、病院に到着するまでの間医療行為を行い搬送患者の生命を繋ぎます。

### ◆ 時代のニーズに合わせて救急車も進化しました

高規格救急車の他にも大規模災害・事件に対応した特集救急車「スーパーアンビュランス」や、感染症・特殊災害対応救急車、新生児用救急車など時代の変化に合わせて多種多様の救急車が生まれています。

今後もその時代に合わせた救急車が生まれ運用されることでしょう。



東京消防庁の特殊救急車  
「スーパーアンビュランス」

東京消防庁のNBC(核・化学・生物)対応特殊救急車



今月はLIVEも連動していますので、そちらもぜひご覧下さい。